2020年度 グローバル理工人育成コース【上級】　対象科目 及び コース修了要件

所属要件：

1）本学学士課程卒業者：グローバル理工人育成コース【中級】，もしくは平成29年3月までに旧グローバル理工人育成コースを修了していること。

2）本学学士課程以外の卒業者：英語力スコアの条件（右記のいずれか：TOEFL iBT80点以上／TOEFL ITP550点以上／TOEIC750点以上／IELTS6.0以上／英検準１級以上）を満たしており、国際性に関する基礎力が備わっていること。
注：国際性に関する基礎力についての資料※を所属申請書と共に提出すること。（※グローバル理工人育成コース【中級】と同等の国際的な教育を受けたことが証明できる資料（修了証等）、および国際性に関する能力が備わっていることを説明するエッセイ等。）
提出された資料内容を確認の上，所属について審査を行い、その結果を後日メールにて通知する。

本コースは、以下に指定された留学経験および科目の履修を通じ、次の能力を育成する：

① 国際教養：自分の専門分野と社会のつながりについて、倫理、歴史、文化を含めた視点で俯瞰的に理解し、異文化コミュニケーションに繋げることができる。
② 国際リーダーシップ：異文化の中でも、具体的な目標を示し、他者に分かりやすく共有し、リスクを恐れず様々な提案を行い、協力者を得て、実現に導くことができる。
③ 発想力・価値創造力：これまでの概念にとらわれず、新たな発想で、新しい活動を始めることができる。
④ 国際共同研究基礎力：自分の専門分野を超えた国内外の専門家と協働して、研究に参加し、提案を行うことができる。

修了要件表に示された科目から合計4単位を修得した上で、継続的な留学経験8週間以上（実働日40日以上）を得ること。

各科目区分	留学経験を補完する科目	分類	科目コード	授業科目名	単位数	開講学期	国際教養	国際リーダシップ	発想力・価値創造	国際共同研究	必要単位数	備　考
リーダーシップ・国際教		国際意識醸成・広域科目	LAW.X421	グローバルリーダーシップ研修	0-0-1	4Q		○			**1単位以上**	左記授業科目で２単位以上の履修があった場合は、その他の科目（修了要件3単位）として修了要件に含めることができる。
			LAW.X423	物語のあるものつくり	0-1-0	4Q	○		○			
			LAW.X425	グローバルリーダーシップ実践	0-1-0	2Q		○				
			LAW.X427	私たちの持続可能なエネルギーの未来：ビジネスと技術の役割（旧：気候変動の未来）	0.5-0.5-0	3Q	○	○	○			
			LAW.X429	異文化協働とリーダーシップ　（2019年度新規開講）	0-1-0	2Q		○				
その他		広域教養科目 (国際意識醸成・広域科目)	LAW.X403	オンライン教育の動画作成　（2020年度閉講）	0-1-0	2Q			○			
			LAW.X406	フィールドワーク記録の質的調査　春	0-1-0	1Q	○		○			
			LAW.X407	フィールドワーク記録の質的調査　秋	0-1-0	3Q	○		○			
			LAW.X408	シンク アラウド	1-1-0	4Q		○	○	○		
			LAW.X414	持続可能工学マネジメント	2-0-0	3Q	○		○			
			LAW.X417	持続可能工学と技術	0-2-0	3~4Q	○					
			LAW.X428	資源効率と循環社会	2-0-0	4Q	○	○	○			
			LAW.X440	伝統技術と国際共修特論	0.5-0-.5	3Q	○		○	○		
		文系教養科目	LAH.C402	ピアレビュー実践　※リーダーシップ道場を受講していること	0-1-0	3Q・4Q		○				
			LAH.C401	リーダーシップ道場	1-0-0	1Q・2Q		○				
			LAH.A501	世界を知る：ヨーロッパ	1-0-0	1Q	○					
			LAH.A503	世界を知る：中南米	1-0-0	2Q	○					
			LAH.A504	世界を知る：中東・アフリカ	1-0-0	3Q	○					
			LAH.A506	世界を知る：北米・オセアニア	1-0-0	4Q	○					
			LAH.A505	世界を知る：南・東南アジア	1-0-0	3Q	○					
			LAH.A502	世界を知る：東アジア	1-0-0	1Q	○					
			LAH.A511	日本を伝える	1-0-0	3Q	○					
			LAH.C501	リーダーシップアドバンス　※リーダーシップ道場とピアレビュー実践を受講していること	1-0-0	1Q		○				
		キャリア科目	LAC.A645	ALP発展研修 V	0-0-1	2Q	○			○		
			LAC.C643	国際競争力向上のためのキャリア開発	1-0-0	3Q			○	○		
			LAC.A635	ALP研修 II（海外研修）	0-0-1	1Q・2Q・3Q・4Q			○	○		
			LAC.C648	クリティカルシンキング	1-0-0	3Q				○		
			LAC.C651	テクニカルディスカッション	0-1-0	1Q・2Q	○					
			LAC.C657	テクニカルライティング	0-1-0	3Q・4Q				○		
			LAC.C621	科学者・技術者の倫理 D	1-0-0	4Q	○	○				
			LAC.M531	プレALP研修　（旧：MLP研修）	1-0-1	1Q・2Q・3Q・4Q				○		
			LAC.M521	科学者の倫理（修士）	1-0-0	3Q・4Q	○	○				
			LAC.M525	技術者の倫理（修士）	1-0-0	3Q・4Q	○	○				
			LAC.M537	研究と社会貢献	1-0-0	3Q		○	○			
			LAC.M443	国際競争力向上のための修士キャリア開発	1-0-0	3Q			○	○		
			LAC.M403	Strategies for Balancing Career, Personality and Lifestyle(Master Course)　（旧：修士キャリアデザインIIIE）	1-0-0	2Q・4Q				○		
			LAC.M406	キャリア、パーソナリテイ、ライフスタイルのバランス戦略の基礎B・C	1-0-0	2Q・3Q	○					
			LAC.M511	知識集約型キャリア開発　（旧：修士キャリア開発（共通））	1-0-0	3Q・4Q			○	○		
			LAC.M448	クリティカルシンキング	1-0-0	3Q				○		
			LAC.M533	テクノロジーマネジメント概論 A	1-0-0	1Q	○	○	○			
			LAC.M562	サイエンティフィックコミュニケーション	1-0-0	2Q	○	○				
			LAC.M451	修士テクニカルディスカッション	0-1-0	1Q・2Q				○		
			LAC.M457	修士テクニカルライティング	0-1-0	3Q・4Q				○		
		英語科目	LAE.E401	英語海外研修IIA 1・2	0-2-0	1Q~4Q	○				**3単位以上**	留学経験認定科目として履修した科目は，左記３単位に含めることは不可
			LAE.E402	英語海外研修IIB 1・2	0-2-0	1Q~4Q	○					
	○		LAE.E451	TOEFL対策セミナー第十三	0-1-0	1Q	○					
	○		LAE.E452	TOEFL対策セミナー第十四	0-1-0	2Q	○					
	○		LAE.E453	TOEFL対策セミナー第十五	0-1-0	3Q	○					
	○		LAE.E454	TOEFL対策セミナー第十六	0-1-0	4Q	○					
	○		LAE.E441	アカデミックプレゼンテーション第十三	0-1-0	1Q	○					
	○		LAE.E442	アカデミックプレゼンテーション第十四	0-1-0	2Q	○					
	○		LAE.E443	アカデミックプレゼンテーション第十五	0-1-0	3Q	○					
	○		LAE.E444	アカデミックプレゼンテーション第十六	0-1-0	4Q	○					
	○		LAE.E461	アカデミックライティング第十三	0-1-0	1Q	○					
	○		LAE.E462	アカデミックライティング第十四	0-1-0	2Q	○					
	○		LAE.E463	アカデミックライティング第十五	0-1-0	3Q	○					
	○		LAE.E464	アカデミックライティング第十六	0-1-0	4Q	○					
	○		LAE.E431	英語スピーキング演習第十三	0-1-0	1Q	○					
	○		LAE.E432	英語スピーキング演習第十四	0-1-0	2Q	○					
	○		LAE.E433	英語スピーキング演習第十五	0-1-0	3Q	○					
	○		LAE.E434	英語スピーキング演習第十六	0-1-0	4Q	○					
	○		LAE.E471	英語スピーチ演習第十三	0-1-0	1Q	○					
	○		LAE.E472	英語スピーチ演習第十四	0-1-0	2Q	○					
	○		LAE.E435	英語スピーキング演習GⅢ	0-2-0	2Q(夏季集中)	○					
	○		LAE.E436	英語スピーキング演習GⅣ	0-2-0	4Q(春季集中)	○					
			LAE.E481	言語文化演習第十三	0-1-0	1Q	○					
			LAE.E482	言語文化演習第十四	0-1-0	2Q	○					
			LAE.E483	言語文化演習第十五	0-1-0	3Q	○					
			LAE.E484	言語文化演習第十六	0-1-0	4Q	○					
		第二外国語科目	LAL.G431	ドイツ語文化演習 1	0-1-0	1Q	○					
			LAL.G432	ドイツ語文化演習 2	0-1-0	2Q	○					
			LAL.G433	ドイツ語文化演習 3	0-1-0	3Q	○					
			LAL.G434	ドイツ語文化演習 4	0-1-0	4Q	○					
			LAL.F431	フランス語文化演習 1	0-1-0	1Q	○					
			LAL.F432	フランス語文化演習 2	0-1-0	2Q	○					
			LAL.F433	フランス語文化演習 3	0-1-0	3Q	○					
			LAL.F434	フランス語文化演習 4	0-1-0	4Q	○					
			LAL.R431	ロシア語文化演習 1	0-1-0	1Q	○					
			LAL.R432	ロシア語文化演習 2	0-1-0	2Q	○					
			LAL.R433	ロシア語文化演習 3	0-1-0	3Q	○					
			LAL.R434	ロシア語文化演習 4	0-1-0	4Q	○					
			LAL.C431	中国語文化演習 1	0-1-0	1Q	○					
			LAL.C432	中国語文化演習 2	0-1-0	2Q	○					
			LAL.C433	中国語文化演習 3	0-1-0	3Q	○					
			LAL.C434	中国語文化演習 4	0-1-0	4Q	○					
			LAL.S431	スペイン語文化演習 1	0-1-0	1Q	○					
			LAL.S432	スペイン語文化演習 2	0-1-0	2Q	○					
			LAL.S433	スペイン語文化演習 3	0-1-0	3Q	○					
			LAL.S434	スペイン語文化演習 4	0-1-0	4Q	○					
			LAL.Z401	第二外国語海外研修IIA 1・2	0-2-0	1Q~4Q	○					
			LAL.Z402	第二外国語海外研修IIB 1・2	0-2-0	1Q~4Q	○					
		リーダーシップ教育課程	TAL.C401	グローバルプレゼンテーション A, B, C, D	1-0-0	1Q・3Q	○		○			2020年度より閉講
			TAL.C402	グローバルコミュニケーション A, B, C, G, F	1-0-0	2Q・4Q	○					2020年度より閉講
			TAL.C501	グローバルライティング A, B, C, D	1-0-0	1Q・2Q・3Q・4Q	○					
			TAL.C601	ストラテジックディベート A, B	1-0-0	1Q・3Q	○					
			TAL.C602	クリエイティブディスカッション A, B	1-0-0	2Q・3Q	○	○	○	○		
留学経験関連		広域教養科目	LAW.X513・514	グローバル理工人研修アドバンスト4A・B	0-0-4	1Q~4Q			○	○	※	留学経験に関する単位取得については、左記の「グローバル理工人育成研修アドバンスト」の申告が可能である。なお、各コースで留学経験に関する単位を設置している場合は、その申告も可能とする。 ※「グローバル理工人研修アドバンスト1C」は、中級の修了要件を満たした学士課程４年生に対する海外派遣の経験について認定するものとし、期間を問わず1単位の付与とする。
			LAW.X511・512	グローバル理工人研修アドバンスト3A・B	0-0-3	1Q~4Q			○	○		
			LAW.X509・510	グローバル理工人研修アドバンスト2A・B	0-0-2	1Q~4Q			○	○		
			LAW.X507・508	グローバル理工人研修アドバンスト1A・B	0-0-1	1Q~4Q			○	○		
			LAW.X430	グローバル理工人研修アドバンスト1C	0-0-1	3Q~4Q			○	○		

継続的な留学経験が8週間に満たない場合は、下記に示す取り扱いも可能とする。

グローバル理工人育成コースは、本学が示す「国際経験」の育成を前提として実施される。中級を修了した時点で、本学において提示している『国際経験により養われるべき素養』を満たしたものとする。

各科目区分	留学期間	必要な単位・経験等	国際教養	国際リーダシップ	発想力・価値創造	国際共同研究	留学実質活動期間	備　考
留学経験	**継続的な留学経験8週間以上（実働日は40日以上）**				○	○	最短でも連続して4週間以上（実働日は20日以上）の留学経験があること	留学経験の認定にあたっては，国際意識醸成・広域科目または，大学院課程における各コースの専門科目，外国語科目、もしくは現地留学先において単位が修得されていることが必要である。 そのため，留学終了後，原則として一か月以内に ・「留学経験認定願」を提出すること（一回の留学につき一枚の提出が必要） ・単位修得を証明する書類（本学の成績証明書、協定校等で履修した科目の成績証明書等）を提出すること。
	継続的な留学経験6週間以上（実働日は30日以上） に加えて右記いずれか１つ	1．留学経験を補完する科目として上記「その他」の○のついている科目より１単位を履修			○	○		
		2．継続2週間以上の留学経験(*2)			○	○		国際学会での発表等については，1)プログラムの表紙（学会名、開催場所、開催期間、学会の活動内容等が明記されているもの）、2) 発表要旨、発表題目および氏名が記載されているプログラム、3) 発表要旨または発表論文（1ページ目）を提出すること。期間不問。
		3．国際学会での発表等			○	○		
	継続的な留学経験4週間(*1）以上（実働日は20日以上） に加えて右記いずれか１つ	1．留学経験を補完する科目として上記「その他」の○のついている科目より２単位を履修			○	○		
		2．留学経験を補完する科目として上記「その他」の○のついている科目より１単位　および 継続2週間以上の留学経験(*2）または 国際学会での発表等			○	○		*1:4週間未満の留学で，実働日が20日の場合，活動実績により留学経験と認めることがある。該当する場合はグローバル人材育成推進支援室に申し出ること。 *2:実働日は事前事後学習を含めて10日以上（内8日は海外での活動）
		3．継続4週間(*1）以上の留学経験（実働日は20日以上）			○	○		

※対象科目については、今後増える可能性がある。
※①国際教養 ②国際リーダーシップ ③発想力・価値創造力 ④国際共同研究基礎力の各能力が養えるように履修することが望ましい。
※コース修了要件について
・学修ポートフォリオによる修得能力の判定及び面接による判定に合格すること
・大学院修了時にコース修了証を交付